

# 同窓

ICHINOMIYA NISHI

# 会報



愛知県立  
一宮西高等学校

## 第38号

2023年7月発行

発行：一宮西高校同窓会事務局  
一宮市萩原町串作字河田1番地 〒491-0376  
TEL (0586) 68-1191 FAX (0586) 69-0196  
E-mail [dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp](mailto:dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp)



# 昨年度の総会報告ならびに 今年度の総会のお知らせ

令和4年度の総会は、感染症対策を実施して、3年ぶりに実施しました。懇親会は行わず、お弁当をお持ち帰りいただく形式で実施しました。学年同窓会は15回生・35回生の担当となりました。

参加者は例年に比べると少なかったものの、久しぶりに会う恩師や友人との会話が花が咲き、あっという間に時間が過ぎていきました。短い時間でしたが、楽しいひと時を過ごせたのであれば、幸いです。

令和5年度の総会につきましては、感染症対策を行いながら右記のように実施する予定です。また、今年度は懇親会も行う予定です。

総会につきましては、参加者把握のために、出席をお考えの同窓会員の皆様は必ず同封のハガキにて事務局までお知らせください。なお、状況により総会を中止させていただく場合につきましては、一宮西高校HPよりご案内させていただきますので、ご確認をお願いいたします。

住所等の変更につきましては、今年度は、E-mail：[dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp](mailto:dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp)でお知らせください。このアドレスには、西高ホームページ<http://www.ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp/>からもメールを送ることができます。

## 令和5年度 同窓会総会のお知らせ

(全日制第16回生・第36回生学年同窓会 同時開催)

日 時 8月5日(土) 午後5時30分より  
場 所 尾張一宮駅前ビル(iビル) 7Fシビックホール

※出席の場合は、参加者把握のために、同封のハガキ、またはメールにて7月18日必着で必ずお知らせください。当日の急な参加につきましては、お断りさせていただく場合があります。ご了承ください。

※状況により総会を中止する場合につきましては、一宮西高校HPよりご案内させていただきますので、ご確認をお願いいたします。

※当日は、発熱等体調が優れない場合は、出席を見合わせていただきますようよろしくお願いいたします。

※本年度は、総会后、懇親会を予定しております。

※来年度は、第17回生・第37回生(昭和58年3月卒、平成15年3月卒)の学年同窓会を計画しております。





転・退職者

お世話になりました

小川 裕之

令和5年3月31日をもって教員生活を閉じました。昭和61年（1986年）、縁あって愛知県多くの高等学校、事務局に勤務させていただき、37年間の教員生活を、何とか終えることができました。もとより、浅学非才の身であり、それぞれの勤務地では、悪戦苦闘の連続でしたが、素晴らしい生徒たちとの出会いと、多数の先輩、同僚の諸先生方からの、優しく、時に厳しい御指導や御助言に支えていただき、無事に定年の日を迎えることができました。最後の勤務校であった、ここ一宮西高等学校では、わずか2年間の勤務でしたが、期間の長短ではなく、自身の教員生活を締めくくるにふさわしい素晴らしい日々であったと、感謝いたしております。

一宮西高等学校在籍の2年間

は、常に隣にコロナという魔物がいた、そんな印象を強く持つています。学校行事はもろろんのこと、日常の高校生活まで、大きな規制をうけての毎日であった感があります。今まで当たり前前であると思つて、特段意識していなかったことが、実は当たり前前ではない、有難いことだったんだ、そんなことを思い知らされた、と感じております。

3学期終業式には、自分の校長講話の最後として、思いを込めて、次のような話をしました。「当たり前とありがとう」。

夕刻になると当たり前前のように帰宅して温かいご飯を食べ、当たり前前のように温かい風呂に入り、当たり前前のように温かい布団で寝る毎日、でもそれは、本当に当たり前前のことだったのだろうか、ということ。我々が当たり前前と思つていた日常は、実はとても有難いものだったのではないだろうか。私たちがあつて当たり前前のように思つてしまふ「暮らし」は、こうした疫病や天災、けがや病気などによつて、ある日突然いとも簡単に失われてしまふ、そんな認識も必要ではないだろうか、ということです。今まで当たり前前に友人と話を交わし、当たり前前

のように大声で笑い合うこと、何の抵抗もなく人と話をする、人に近づくと、人と触れ合うこと、これができない毎日の、なんと苦しいことか。

実は、これらの話をしようと思つたきっかけは、2011年3月、東日本大震災のしばらく後に、ネット上で見つけた記事を読み出したからでした。その記事とは、以下のような内容でした。

貧しい国の人たちに「今、幸せですか？」と尋ねると「今日のご飯が食べられたから幸せです」と答える。日本で同じことを尋ねても「幸せです」と答える人は多くはない。これは私が高校生の時に先生から聞いた話だ。きっと人は一度大きな幸せを知ると、それよりも小さな幸せを「幸せ」と考えられなくなるのだろう。しかし東日本大震災をきっかけに、今までの「当たり前前」を「幸せ」だと改めて思うことができた。支えてくれる人がいる。雨風をしのげる家がある。ご飯が食べられる。物を事を学ぶことができる。これらは、当たり前前のことではなく「幸せ」なことだ。私の住む地域では地震の影響はほとんどない。その中で私たちは大震災を忘れ

ることなく、今ある「当たり前前のこと」に感謝しながら、一日一日を精一杯生きていく。「幸せですか」と聞かれ「幸せです」と笑顔で即答できる、そんな生き方をしたいと思う。

幸せかどうかは、当たり前前のことに感謝の心が持てるかどうかである、そんな趣旨である、私は理解しています。我々の毎日は、当たり前前に慣れすぎて、その有り難さを実感していないことがあまりに多いのかも知れません。でも、そのどれもが、実は当たり前前のことではない、失つて初めてその有難さを痛感する、そんな事実を今回のコロナ感染症からも再認識する必要があると思うし、今後の自身の生活にしっかりと活かしていくべきであると感じています。

最後になりましたが、校長在職中は、同窓会宮田浩二会長を始め、役員の皆様、教職員、生徒、保護者の皆様に、あらゆる方面から御協力と御支援を賜りました。この場をお借りして、衷心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。末筆ながら、一宮西高等学校同窓会の益々の御発展と、皆様方の御多幸、御健勝を祈念申し上げます。



10年間ありがとうございました。  
じょうまつました。

伊奈 和俊

西尾張地区屈指の進学校に10年間勤務させていただけたことに本当に感謝します。

一宮西高校に勤務して始めの5年間は担任として生徒と向き合いました。当時は47分7限授業、授業や実力考査の間での保護者会、毎日の学習の記録のやり取り、各月毎の進路検討会(3年生)等、本当に盛沢山の学校だなぁと思いました。しかし、これらを行うことで生徒は、学習と部活を高いレベルで両立しながら、行事を大いに楽しみ、人間的に大きく成長することができたと思います。西高というのは努力ができる素晴らしい生徒とそれを裏で支える先生方によって成り立っているのだということが分かった5年間でした。

後半の5年間は進路指導という立場で生徒と接してきました。生徒一人一人が社会で活躍するために、何ができるのかを考えながら過ごす日々でした。時代の流れとコロナ禍により変わっていく状況に対応しながら、その都度その都度でできる限りのことをしてきました。

した。学校として大きく変わることは多々ありましたが、西高の本質は変わらずに受け継がれていると思います。この生徒と先生方のつながりこそが西高の強みであると確信しています。

この10年間の西高での教員生活でもとても貴重な体験をさせてもらいました。今後この貴重な体験を多くに広げていけるようにしていきたいと思えます。最後に西高のさらなる発展を心からお祈りしております。

お世話になりました。

水谷 悟

12年前、西高への異動を聞いたときは、母校で後輩たちと共に過ごす日々を期待を抱きつつも、尾張有数の進学校にして、優秀な生徒が集まる西高で、本当に自分が務まるのかとても不安でした。

しかし、恩師でもある水野光平先生、平澤稔先生を始め、多くの先生方に沢山ご指導いただき、ここまですべてが務め上げることができました。また、卒業生として同窓会の運営に携わり、山内進前会長の宮田浩二会長を始め多くの同窓会の方々にも大変お世話になりました。この場をお借りして、厚く御礼





申し上げます。本当に、ありがとうございました。

この12年間を振り返れば、「3 兔を追う」の言葉の通り、学習、部活動、学校行事のどれも手を抜かず、一生懸命に取り組む西高生に、刺激と感動をもらい続けた日々でした。

進路実現に向けて「平日3時間、休日5時間」の学習にも前向きに取り組む姿に、私なりに応えようと授業の準備に必死に取り組みました。3年生の担任を4度も持たせていただき、高い進路希望を掲げそれを実現していく生徒もいる一方で、惜しくも目標に届かず、悔しい思いをする生徒もたくさん見られました。自分の指導力の無さを痛感し、その悔しさを糧に「次こそは！」と取り組んだ日々でした。

部活動では、ソフトボール部を7年間、男子ハンドボール部を5年間、担当しました。決して諦めず、最後まで戦い抜く姿勢に何度も感動させられました。また、入部したところは頼りなかった「後輩」が、やがて「先輩」としてチームの中心へと成長していく姿を一番近くで見ることができ、教員冥利に尽きるの一言でした。

これは学校行事でも同じでした。西高祭では、3年生が本当に頼

もしく群団を率いて、リーダー、マスコット、衣装を創り上げていきます。クラス企画でも、学年が上がるとつれ、細部まで創意工夫が詰まっている、こだわり抜いた完成度の高いものばかりでした。その姿を受け継いだ1・2年生が先輩への感謝の気持ちを持って臨む予餞会も、本戦では本当にレベルの高い劇や合唱を見ることができました。

どの場面を見ても、西高生にとって「先輩」は本当に特別な存在で、憧れ、追いつこうとすることで大きく成長していきます。「先輩からの贈り物」、「合格あめ」も含めたこの縦のつながりがこそが西高の伝統なのだと思っています。時流やコロナ禍と共に、新しいスタイルへと変わっていったものもありますが、この伝統が変わらず続いていくことを願っています。

この4月からは、今までは違った形で、愛知の教育に携わることになりました。そこでしか学べないことを学び、いつかまた、西高に恩返しできる日が来ることを夢見て、頑張りたいと思います。

最後になりますが、今年度60周年を迎える一宮西高校、そして同窓会が今後益々発展し、地域からも期待される西高であり続けることを祈念しております。



# Global Learning@Ichinomiya Nishi



2022年8月8～10日、一宮西高校の国際ルームにおいて、「Global Learning@Ichinomiya Nishi (GLIN)」を実施しました。1年生12名、2年生11名に加え、一宮高校からも参加がありました。GLINは異文化及び自国の文化への理解を深めるとともに、オールイングリッシュによる活動で英語を主体的に学ぶ姿勢を養うことを目的としたプログラムです。

最初にカナダとジャマイカ出身の先生方から、それぞれの母国の紹介がありました。コロナ禍以来、様々な人と関わる機会が減ってしまった生徒たちにとって、視野を広げる貴重な時間となりました。そしてその後は、論理的に意見を述べる方法や、効果的なプレゼンテーションのスキルを学びました。総まとめとしては、SDGs達成のためのディスカッションをした上で、各自の提案を英語で発表しました。

参加した生徒たちは、英語漬けの3日間を楽しみながら、コミュニケーション力や積極性、環境問題への関心や主体的に考える力をつけることができたと答えています。また、国際理解コースの2年生が1年生をよくリードし、学びを深めることができていました。

なお、本校からの参加者生徒の費用の一部を同窓会から補助して頂きました。有難うございました。





## 同窓会寄附金のお願い

昨年度、同窓会寄附金（一口千円、二口以上）の納入をお願いしましたところ、コンビニ振り込み分を合わせて390名の方から、寄附金とあわせて、93万円あまりをいただくことができました。ご協力ありがとうございました。今年度も引き続き、寄附金をお願いしたいと存じます。同封の振込用紙をご利用の上、郵便局またはコンビニよりお振込みください。よろしくお願いいたします。

## 同窓会支援費・国際理解事業費について



同窓会支援費・国際理解事業費は、母校の教育活動に必要な備品を同窓会から寄贈するために使用しております。今年度は、国際行事であるディベートプログラムの補助を行いました。



## 同窓会報の 発送について

同窓会報の発送について、その発送費用が会計の多くの部分を占めており、単年度では赤字になる年もあること、近年ホームページを整備して会報を閲覧できるようにしたこととを踏まえ、平成30年度の総会で、次のように決まりました。

- ・同窓会報について、卒業後22年間の最初の学年同窓会まで）は全員送付する。
- ・22年目以降、同窓会費を納入していただいた方には翌年から5年間送付する。未納の方は送付しない。
- ・役員、旧職員については今まで通り送付する。



- ・同窓会費の振り込みについては2018年度より把握する。
- ・2020年度の同窓会報（35号）から実施する。

## 同窓会年度幹事

第57回生  
常任幹事 田中 透  
年度幹事

- 1組 浅井 徹生 溝口壮太郎
- 2組 松田 寧々 森山 遥菜
- 3組 伊藤 遥哉 大津こころ
- 4組 中谷 音月 渡邊 美穂
- 5組 坂巻 裕太 大場 雄貴
- 6組 田中 透 仲光優依奈
- 7組 後藤 一瑠 名倉 里奈
- 8組 倉石稟之助 関野 隼都

## 職員の異動

(敬称略)

### 令和5年度

#### ◇退職者

校長 小川 裕之

#### 教諭

保体 古澤 浩(小牧再任用)

英語 遠藤 和彦(木曾川再任用)

英語 西田 孝二

#### 再任用教諭

理科 川口 一郎(一宮西非常勤)

#### 期付講師

地歴 鈴木 康佑(幸田・新任)

英語 水谷 忠司(一宮西非常勤)

養護 杉本 陽菜(半田東)

用務業務員 宮崎 ノリ子

#### ◇転出者

地歴 藤井 瑞貴(岡崎)

地歴 黒野 友哉(瀬戸北総合)

数学 水谷 悟(県教委教職員課)

理科 太田 成樹(五条)

理科 伊奈 和俊(津島夜間定時教頭)

理科 植村 恵実(幸田)

#### 庶務部

事務長 宇都宮裕人(一宮聾事務長)

主任 田中 基啓(尾西)

#### ◇転入者

校長 加藤 祥二(海翔校長)

教諭 牧 詩乃(南陽)

地歴 齊藤 雅人(二宮北)

数学 新 正司(五条)

理科 豊満 潤一(津島東)

英語 神谷 祐美(津島北)

英語 水野 朝子(美和)

地公 池松 駿(新規採用)

理科 宮地 佐世(新規採用)

保体 大迫 宏彰(新規採用)

再任用教諭

英語 所 素春(一宮南)

#### 期付講師

理科 大窄 健太(昭和)

地公 渡辺 悠人

#### 庶務部

事務長 伊藤 嘉章(一宮南)

主事 中村 早希(愛知総合工科)

用務業務員 鈴木邦宏(新規採用)

## 昨年度の同窓会活動報告

### 1、同窓会総会の開催

令和4年8月6日(土)にiビル7Fシビックホールにて実施しました。

### 2、「同窓会報」第37号の発行

令和4年7月に発行いたしました。

### 3、同窓会寄附金のお願い

今年度も別記のとおり実施いたしますので、ご協力よろしくお願いいたします。

### 4、東京支部会の開催

新型コロナウイルスの昨今の情勢を受けて中止とさせていただきます。

### 5、同窓会入会式及び卒業記念品贈呈式

令和5年2月27日(月)に実施され、同窓会からは鶴飼俊光副会長が出席しました。第57回生304名が同窓会に入会し、一般会員総数は20,761名になりました。また、卒業生には、卒業記念品として卒業証書ホルダーを贈呈しました。

### 6、学校への支援

国際理解事業支援費については、別記の通り、プライベートプログラム参加者への補助をさせていただきました。

大学	人数	大学	人数	大学	人数
東京外語大	1	奈良女子大	1	中央大	5
金沢大	2	岡山大	1	東京理科大	5
福井大	7	九州大	1	明治大	6
信州大	1	高崎経済大	2	愛知大	136
岐阜大	31	都留文科大	1	愛知淑徳大	38
静岡大	5	横浜市立大	1	金城学院大	18
愛知教育大	17	岐阜薬科大	4	相山女学園大	38
名古屋大	29	愛知県立大	19	中京大	38
名古屋工業大	23	名古屋市立大	22	南山大	223
三重大	12	滋賀県立大	2	名城大	213
滋賀大	6	大阪公立大	1	同志社大	40
大阪大	2	国公立大合計	197	立命館大	48

## 大学合格者数一覧表

